

長岡方式の地域自治

合併の懸念事項

合併することによる不安や懸念としては、次のようなことがあげられます。

合併すると地域の伝統や文化が失われるのではないかな？
 合併後は中心部だけが良くなって、周辺部が取り残されてしまうのではないかな？
 市役所や役場が遠くなり、今よりも不便になるのではないかな？
 住民の声が行政に届きにくくなるのではないかな？

「長岡方式の地域自治」により解消します。

合併後も、地域住民の声を十分行政に反映するために、長岡市以外の旧市町村単位に支所を設置します。
 支所では、通常の住民サービスのほかに、地域固有の業務や支所で行った方が効果的な業務などを行ないます。
 当該地域の施策やまちづくりについて、地域住民の立場から検討し、行政に反映させるために、地域委員会を設置します。

地域委員会は市長の附属機関です

市長は、地域委員会の提案、意見を尊重し、地域の行政運営を行ないます。
 地域委員会は地域にとって重要な組織です。

支所が地域委員会の事務を担います

支所は、通常業務、地域固有の業務などを行なうほか、地域委員会の事務も担います。地域委員会と連携をとって、地域振興に努めます。

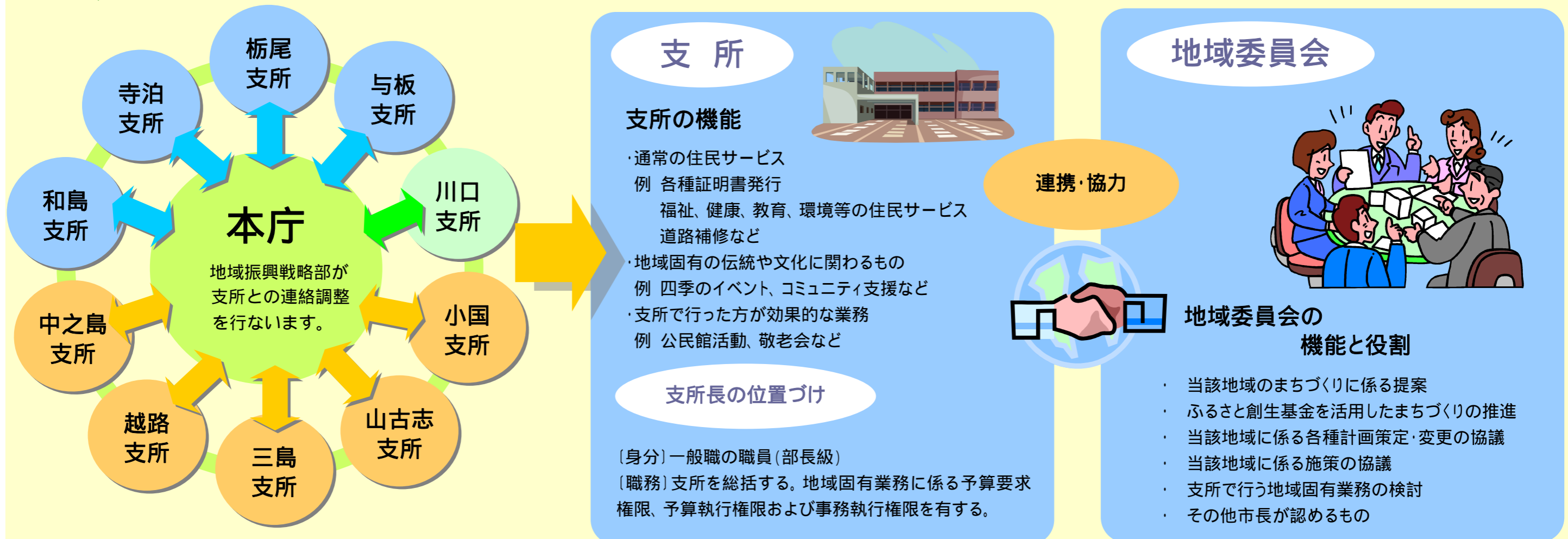
ふるさと創生基金の活用

地域委員会において、基金を活用したまちづくりを推進します。

地域コミュニティ事業補助金の活用

さまざまなコミュニティ関係団体が、地域や産業の活性化、地域環境の整備のために、自ら考え、自ら具体化していく事業に対して補助します。

地域自治のしくみ旧市町村単位に支所と地域委員会を設置します。



これからの地域委員会について

参考

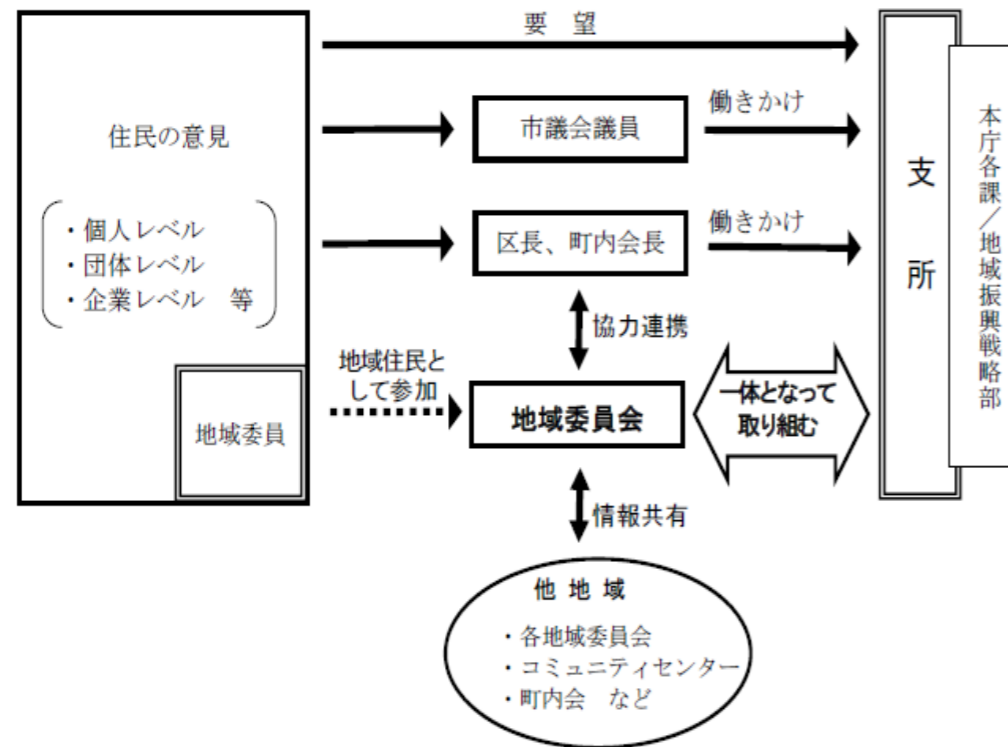
1 これまでの動き

- 1 期目 総合計画などに関する諮問を中心に議論
- 2 期目 分科会を設けて、地域課題を議論
- 3 期目 議論する視点を広げながら、地域課題を議論
(女性地域委員会や地域委員会同士の交流会開催)

2 地域委員会に対する主な意見

- ・地域委員会の役割がわからない。
- ・地域委員会での提言が、どのように反映されていくのか見えない。
- ・継続的にテーマを持ち、問題提示をしながら開催すべき。
- ・自地域だけでなく、長岡市全体を視野に入れた議論を。
- ・何をどのように議論するのか、わからない。
- ・十分な議論には課題の絞り込み、また、様々な機関、組織との連携が必要。
- ・地域の代表なのか、個人の意見で良いのか迷う。
- ・区長や町内会長と同じようには、町内の課題を把握していない。

3 地域委員会の役割について（区長、町内会長等の違い）



平成 22 年 11 月 2 日～平成 22 年 11 月 29 日の間に開催した地域委員会でのご意見

【地域委員会の認知度】

- ・地域委員会の活動内容が市民に伝わっていない。支所だよりなどで、地域委員の役割や活動内容を PR することが必要である。
- ・地域の人たちは、地域委員が何をしているか理解していない。映像をイベント会場で流すなどしつこいくらいに PR したほうがよい。
- ・団体の代表として出てきているが、地域委員会について報告する場がない。
- ・地域委員の役割が不明確。

【地域委員会の運営】

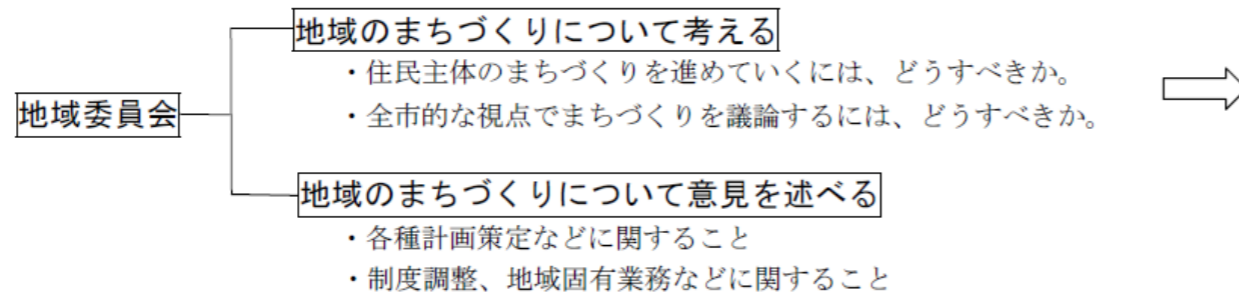
- ・議題は事務局提案が多い。委員から問題提起することが必要である。
- ・全体の課題を議論する。地域だけでなく、長岡市として物事を考えていけたら良い。
- ・今は行政の追認機関。地域委員会はきちんと議論し、結論を出せる場であるべき。
- ・地域の声をフォローアップする提案をたくさん行うべき。そういった提案の数で地域委員会を評価してほしい。
- ・地域委員会では幅広く議論するのではなく、一つのことを深く議論するほうがよい。
- ・掘り下げた議論をし、地域全体として方向性を出せるような議論ができると良い。
- ・地域委員会は、地域の課題が何か、どう解決していくかを話し合うことが大事。
- ・分科会は意見を述べやすい。意見の述べやすい委員会運営、議題設定をすると良い。

【地域委員会の活動】

- ・地域委員は各団体から情報収集、情報吸い上げを行うことも必要。
- ・合併地域との交流、特に旧長岡地域との交流も大切。
- ・地域委員会と区長会の連携が必要ではないか。各地区に入り込み、意見を聞く機会がほしい。
- ・地域のことに関心を持つことが必要。自ら求めること、参加することが必要である。
- ・地域の人たちと話し合いながら活動していく必要がある。地域の連帯感づくりの役割もあるのではないかな。
- ・他地域との交流は地域委員の役割といえる。よいものを見つけて、地域に生かすことが大事。

地域委員会の役割と議論の進め方について

地域委員会は、合併の不安感を解消するとともに、いずれは「ひとつの長岡」になるための住民自治の実現に向け、地域住民と行政とが一体となって、まちづくりを推進するものです。



◆議論のテーマ例

〔既存事業のたな卸し〕

- ・地域の祭りやイベントについて
- ・敬老会や配食サービスなどの福祉活動について
- ・体育祭などの各種スポーツ大会について など

〔住民主体の新たな活動〕

- ・地域資源の発掘と活用方法について
- ・他地域との連携によるまちづくりについて など

【地域委員会での議論の流れ】 例) 地域の祭りについて

